

# PDF 制作マニュアル

(Illustrator 編)

Ver.1.0 版



Illustrator



PDF/X-1a

**ポケットティッシュ印刷**の場合は、  
**必ずテンプレート**をお使いください。



# 目次

---

<b>1 準備・・・カラー設定と PDF プリセット</b>	<b>p.3</b>
--------------------------------	------------

<b>2 PDF 保存前の準備</b>	<b>p.4 ~ 6</b>
---------------------	----------------

<b>3 PDF 保存</b>	<b>p.7</b>
-----------------	------------

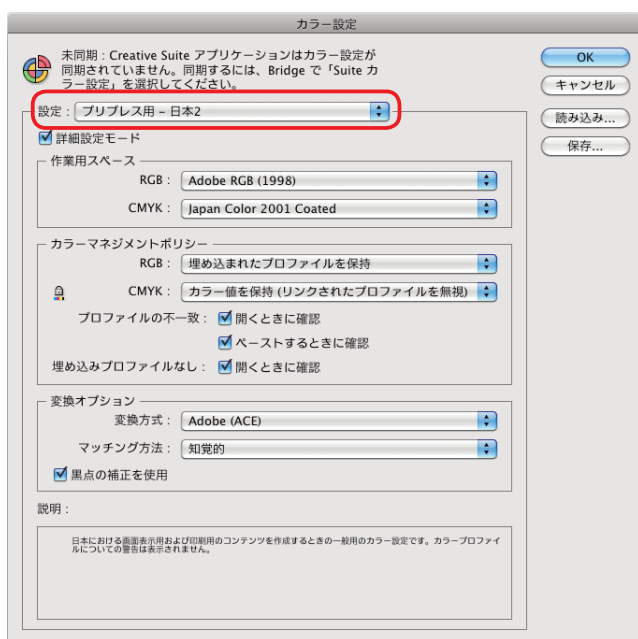
<b>4 入稿前のチェック</b>	<b>p.8 ~ 9</b>
-------------------	----------------

## 1 カラー設定

Illustrator のカラー設定は、次のようにしてください。

Japan Color は、日本の印刷標準色の ISO 規格となります。

※設定に「プリプレス用 - 日本 2」を選択すると、他の項目は自動的に設定されます。



Illustrator の場合 (メニューの [編集] → [カラー設定 ...])

## 2 PDF 保存プリセットの設定

① アスクル PDF 保存プリセットを下記よりダウンロードしてください。

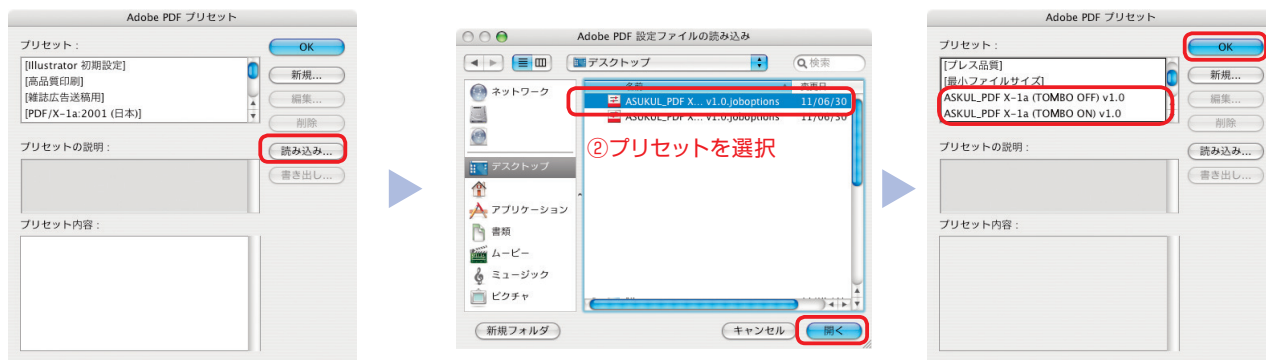
<http://spc.askul.co.jp/showin/pdfmanual>



ASKUL\_PDF X-1a (TOMBO OFF) v1.0.joboptions

PDF 保存時に自動トンプを発生させません。

② Illustrator のメニュー [編集] → [Adobe PDF プリセット ...] より上記のプリセットを各々選択してください。



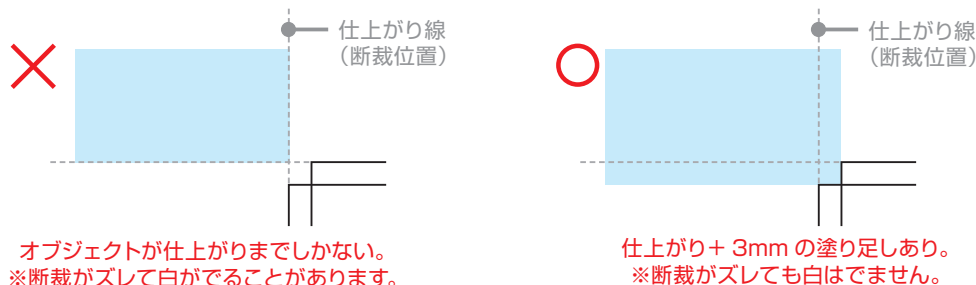
① メニューの [編集] →  
[Adobe PDF プリセット ...] を選択

③ セットされたことを確認してください

# 2 PDF 保存前の準備

## 1 塗り足し処理

塗り足しとは、ふちなし印刷をする場合に、オブジェクトや画像を仕上がり線（断裁位置）より多くはみ出して配置することです。

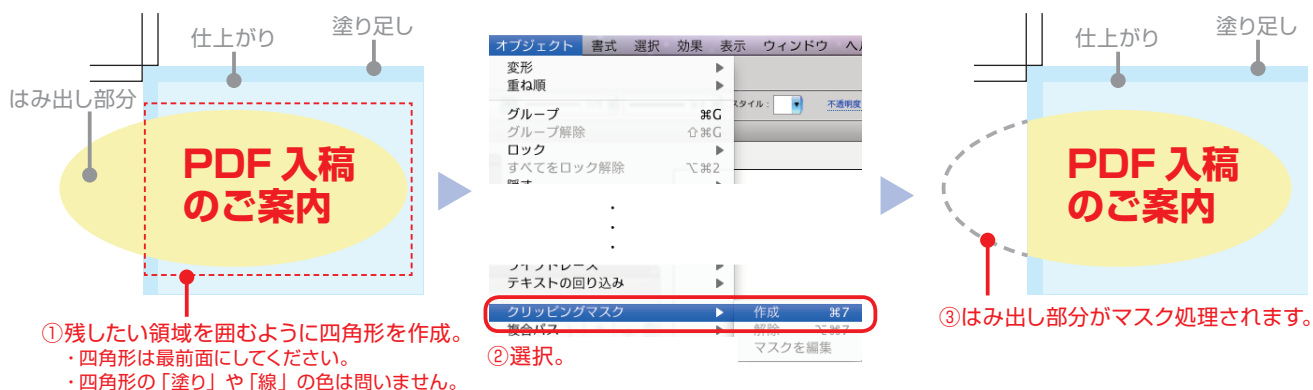


注意

仕上がり線（断裁位置）ギリギリに文字を配置することもさけてください。  
文字は仕上がり線より 5mm 以上内側に配置するのが目安です。

## 2 マスク処理

画像やオブジェクトが塗り足しよりも外側にはみ出す場合は、はみ出し部分をマスク処理やパスの削除で処理してください。下記では、マスク処理の方法をご紹介します。



## 3 アウトライン化

フォントはアウトライン化するか、PDF に埋め込んでください。  
トラブル回避のため、できるだけアウトライン化することをお勧めいたします。



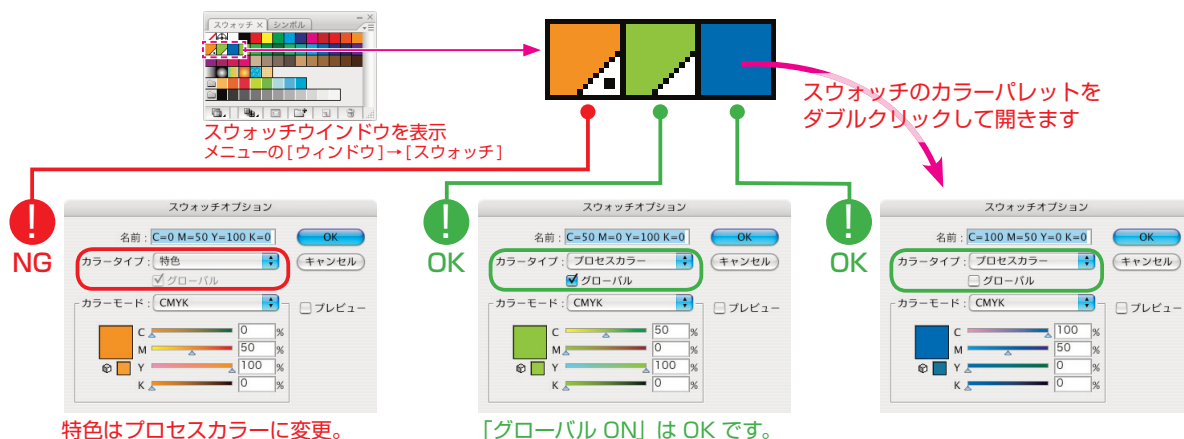
注意

アウトライン化、または PDF への埋め込みができないフォントは使用できません。  
この場合、別のフォントをご利用くださいますようお願いいたします。

## 2 PDF 保存前の準備

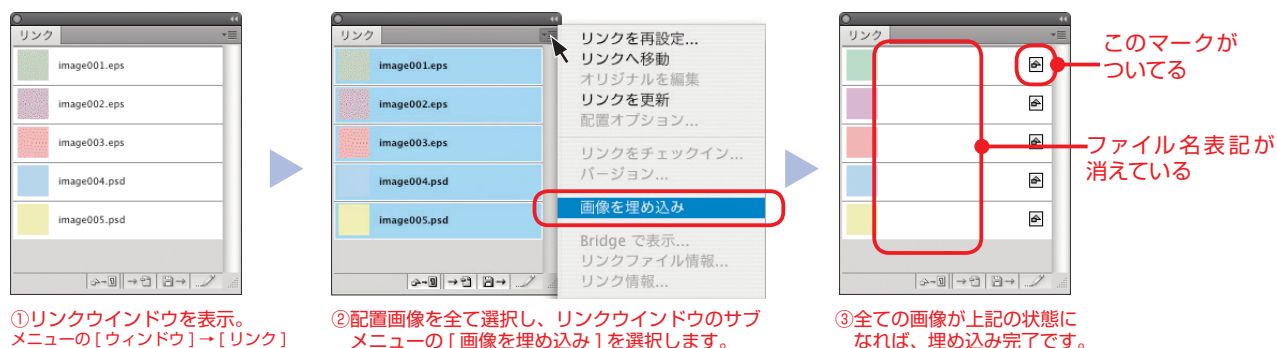
### 4 特色をプロセスカラーに変換

特色印刷には対応しておりませんので、特色設定されたスウォッチは必ずプロセスカラーにしてください。  
スウォッチで着色した全てのオブジェクトとスウォッチの色成分を連動させて変化させるには、「グローバル」にチェックを入れることで実現できます。



### 5 画像の埋め込み

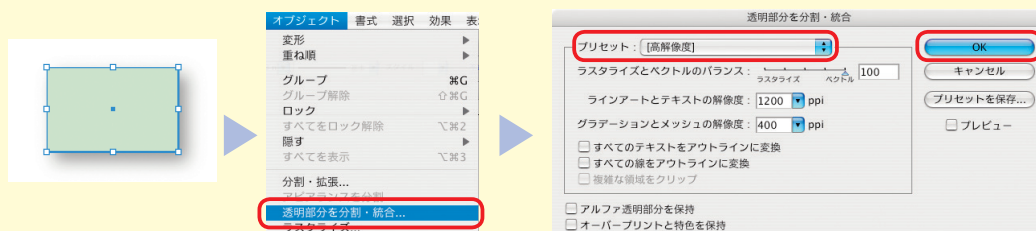
CS/CS2 で生じていた「リンク配置した EPS 画像に白いスジが出る」問題は、CS3 以降では基本的に解消されています。  
ただし、稀に CS3 以降でもリンク画像に白いスジが出ることがありますので、**リンクでの配置画像は EPS/Photoshop 形式問わず、全て埋め込んでから PDF 保存されることをお勧めします。**



注意

PDF/X-1a は、保存の時に透明部分のオブジェクトを分割または統合します。CS3 以降で画像に白いスジが出る原因の多くが、この透明オブジェクトの分割・統合処理によるもので、多くの場合、画像を埋め込むことで回避できます。

ただし、画像を埋め込むことが全ての解決策ではなく、以下のように**透明オブジェクトを予め分割・統合処理**することで、回避できる場合もあります。



なお、透明の分割・統合処理による不具合は、透明オブジェクトの位置や制作方法により左右され、ご紹介した方法でも解決しない場合があります。その場合、デザインを変更するなどの対応をお願いします。

## 2 PDF 保存前の準備

### 6 画像の解像度について

印刷に適した画像解像度の目安は、下記の通りとなります。

**ポケットティッシュ印刷：300 ～ 400dpi 程度**

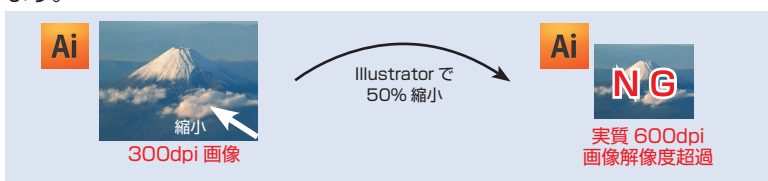
解像度が低いと印刷品質は悪くなりますが、ある程度以上の解像度になりますと、解像度を高くしても印刷品質に差異がでなくなります。また、過度に高い解像度は、データ容量が重くなるため、制作や保存の際のハンドリングが悪くなるばかりでなく、当社の出力処理の際にトラブルになる可能性もあります。

当社では、これらの事情を考慮いたしまして、画像の解像度が **99dpi 以下、および 501dpi 以上のデータは入稿できないように制限（下記7を参照）** をかけさせて頂いております。これは、入稿されたデータを効率よく出力するためでございますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

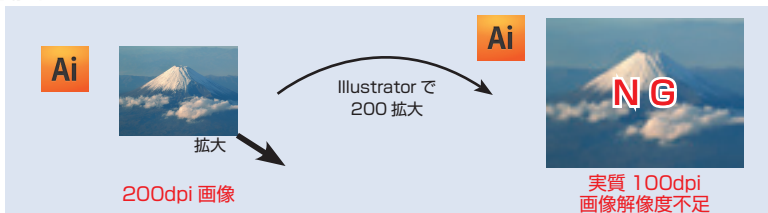
### 7 画像の変倍について

画像の解像度は、Illustrator に配置した後の変倍で決定されます。

例えば、**300dpi の画像を Illustrator 上で 50% 縮小**した場合、貼り込み後の解像度は **600dpi** になり、当社の解像度基準を超過してしまいます。

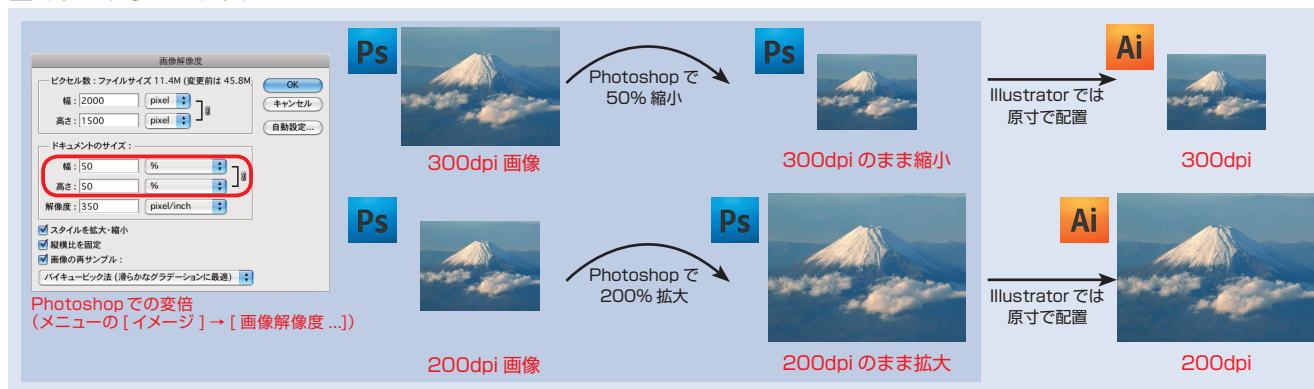


逆に、200dpi の画像を Illustrator 上で 200% 拡大した場合、貼り込み後の解像度は 100dpi となり、解像度不足で品質的に問題になる可能性があります。



#### ■ 解像度の調整方法 ■

解像度超過・解像度不足になる場合は、予め Photoshop にて使用サイズに近い大きさに変倍をし、Illustrator 上で微調整をするようにします。



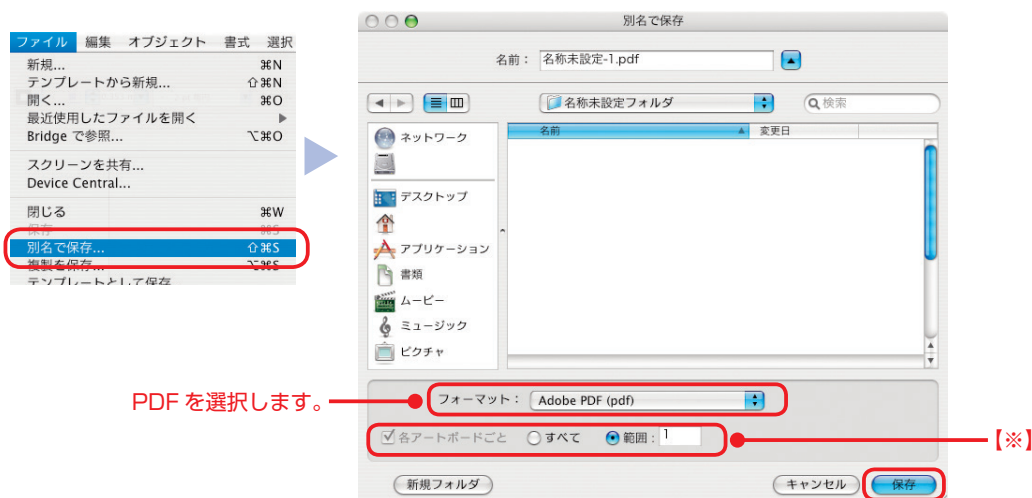
注意

Photoshop の拡大は、Illustrator 上での拡大より品質的に綺麗に仕上がりますが、過度の拡大は品質劣化につながります。目安として 200% 程度までが許容範囲となります。

# ③ PDF 保存

## 1 PDF 保存

- ① PDF 保存の前に**予め Illustrator 型式でも保存**をしてください。PDF/X-1a 保存したデータは Illustrator で  
の再編集ができなくなります。
- ②メニューの [ ファイル ] → [ 別名で保存 ... ] を選択します。
- ③フォーマットとして「Adobe PDF」を選択して [ 保存 ] してください。



注意

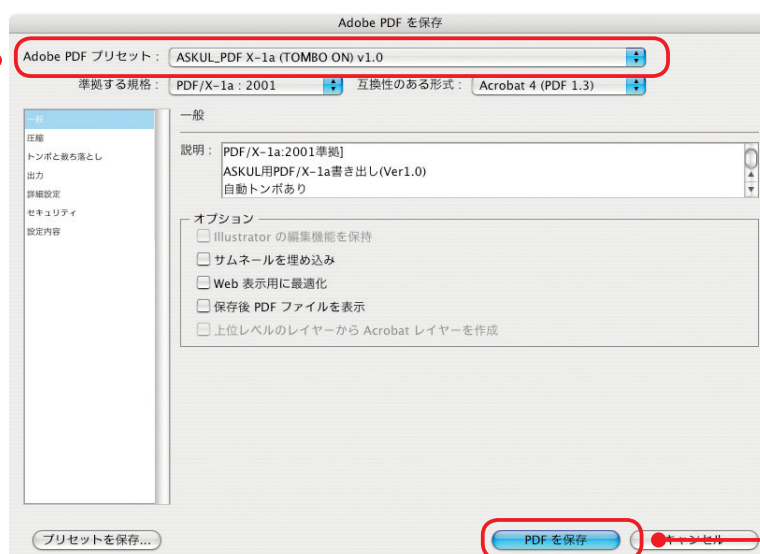
【※】アートボードを2つ以上で作成した場合、PDF ファイルは、単1ページ（アートボードが1つ）となるようにしてください。複数ページあるPDF（マルチPDF）は入稿ができません。

- ④アスクル用の保存プリセットを選択し、そのまま PDF を保存してください。

※該当するプリセットがない場合、p.3 ②に従ってインストールしてください。

### テンプレート使用

「ASKUL PDF X-1a (TOMBO OFF) ver1.0」を選択し、自動トンボを発生させません。Illustrator に予め設定されているトリムマーク（トンボ）を生かします。



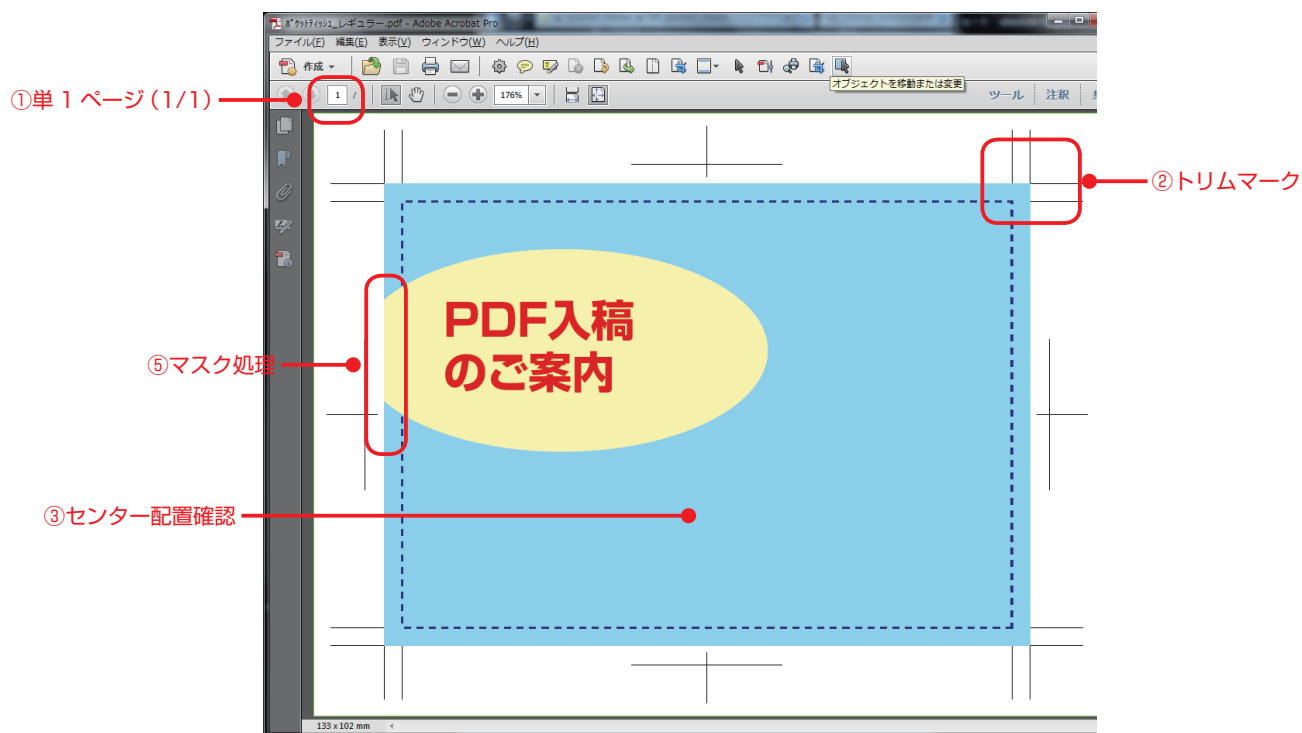
保存します



## 1 PDF のチェック

保存した PDF/X-1a を Acrobat (製品版) で開いて、下記のチェックをしてください。  
 なお、無償の Reader では、一部チェックできない項目がありますのでご注意ください。

- ☐ ① PDF は単 1 ページ (1/1) になっていますか。
- ☐ ②トリムマークが表示されていますか。
- ☐ ③ドキュメントはセンターに配置されていますか。印刷工場では、入稿された PDF をセンター配置で面付けをして印刷をします。
- ☐ ④塗り足し処理が正しくされていますか。(p.4 ①参照)
- ☐ ⑤塗り足しより外側にはみ出るオブジェクトは、マスク処理をしていますか。(p.4 ②参照)
- ☐ ⑥文字はアウトライン化、または PDF 埋め込み(エンベッド) されていますか。(p.4 ③参照)
- ☐ ⑦特色は、使用されてませんか。(p.5 ④参照)
- ☐ ⑧作成された PDF を必ずお手持ちのプリンターで出力してください。画像に白いスジが出ていないか (p.5 ⑤参照)、そのほか不備がないかをご確認ください。



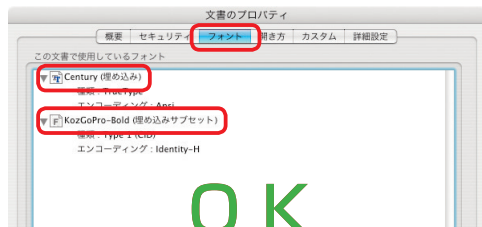
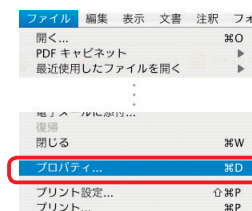


## 1 PDF のチェック

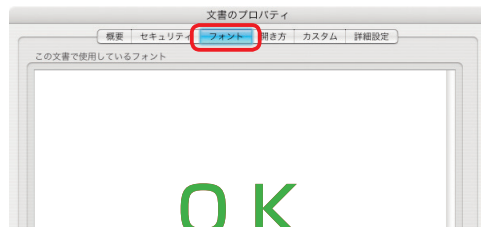
## ⑥文字のアウトライン化、または PDF 埋め込み（エンベッド）の確認方法

ドキュメントを Acrobat で開く

メニューの [ ファイル ] → [ プロパティ ... ] を選択し、「フォント」タブ表記で確認してください。



表記されている全てのフォントが「埋め込み」または「埋め込みサブセット」になっている場合は OK です。

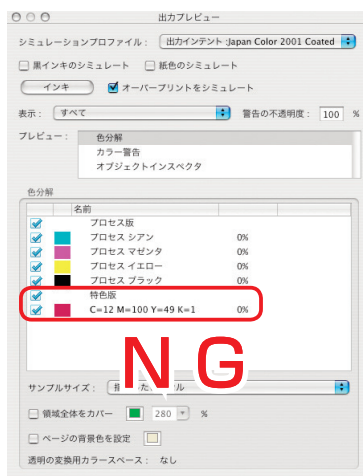
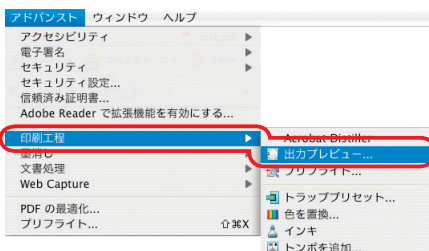


アウトライン化したフォントは、リストに表記されませんので、フォント名が表記されていない状態でも OK です。

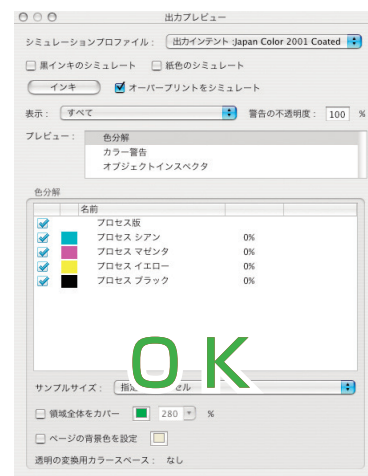
## ⑦特色が使用されていないかの確認方法

ドキュメントを Acrobat で開く

メニューの [ アドバンスト ] → [ 印刷工程 ] → [ 出力プレビュー ... ] を選択します。



特色が使用されているため、入稿することはできません。特色をプロセスカラーに変換してください。(p.6 ④参照)



プロセスカラー 4 色なので OK です。

## ⑧ PDF をプリンター出力して最終確認をしてください。

- ☐ 画像に白いスジがでていませんか。(p.6 ⑤参照)
- ☐ 透明効果のあるオブジェクトは、正しく出力されていますか。
- ☐ その他、データに不備のあるところはございませんか。